

さらなる発展へのスタートに

愛知県代協が創立70周年記念事業

愛知県代協(高木勝会長)は今年70周年を迎えた(東海地方損害保険代理業協会として昭和20年3月3日設立)。その創立70周年記念事業が10月6日午後1時半から名古屋市中区の本アルヒルトン名古屋で行われ、同代協会員ら約350名が出席した。

第一部式典では、主催者を代表して高木会長が挨拶。

「会員のみさんの力があってこそ本日70周年の記念事業を催すことができました。ありがとうございます。」

最近大災害が発生しており、普段から安全な場所を確認しておくことは人命を守ることにつながります。ハザードマップを通じてこうした広報活動をしていくのは我々の使命です。また、損害保険トータルプランナーとして代理店の資質の向上に努め、地域に貢献していくことが業界の発展につながっていきま



記念式典で挨拶する高木会長

す。70周年は通過点、若い人たちが、先輩たちが築いてきた伝統を引き継ぎ、さらなる発展へ向けてのスタートとしたい」

引き続き来賓挨拶。最初に損保協会中部支部・吉田靖之委員長(あいおいニッセイ同和損保執行役員)が登場。

「損保協会は今年度から第7次中期計画(3か年)が策定され、安心・安全な社会づくりへ、自助・共助の活動に取り組んでおり、信頼される損保として代協のみさんの協力は不可欠です」

また、①ほうさい探検隊の推進、②自動車盗難件数全国ワースト1返上へ自動車盗難防止強化に取り組んでいくこと、③

地震保険の普及の3点について連携・協力を呼びかけた。

次に朝日火災・添田智則取締役社長が「幾多の困難を会員の皆さんの尽力により乗り越え、本日70周年を迎えられたことに敬意を表します。お客様によりよい商品とサービスを提供していくイコール・パートナーとして今後も関係の強化に努めていきたい」と挨拶。

最後に日本代協・岡部繁樹会長が挨拶。

「愛知県代協は全国で4番目に大きい規模を持っています。高校生への交通安全出前講座などさまざまな活動に取り組まれ勢いを感じます。昨今、自然災害が多発する中で、日々お客様に接している代理店として防災・減災に継続的に取り組むことは大切なことで、社会貢献につながります。」

また、①会員の増強②国民年金基金の加入促進③損害保険大学課程・コンサルティングコース受講の推進の三冠達成に取り組みでいただき、全国代協のけん引役として期待しています」

このあと、8代から13代までの歴代の会長などに功労者表彰が行われた。さらに、熱田神宮と豊川稲荷に寄付事業の目録が贈呈された。

第二部記念セミナー(日本代協東海ブロック公開講座)は、有限会社ブレジャー企画・大棟耕介代表取締役会長による「現役クローン(道化師)から学ぶ感動サービス(CS)」。病気を治療する子どもたちとのふれあいなどを通じて体験した感動やサービスなどをビデオを交えながら披露した。午後5時半から第三部の懇親会が行われた。